

味の素グループサステナビリティ諮問会議 委員のみなさまへ

1909年の創業以来、味の素グループは、栄養に纏わる高度な科学的知見と、食の持つ人間的価値への共感を融合させることで、一貫して、より豊かな人々の生活を追求してきました。“Eat Well, Live Well.”は、かかる味の素グループの使命を表すものであり、約束であると同時に招待状でもあります。

その約束は、味の素グループは、栄養学・商品開発・製造・流通に関する知識とノウハウを駆使し、人々が自らの価値観を表し夢を実現するための商品やサービスの提供に努めることです。そのためには、味の素グループとして、人々の想いや夢、そして人生において直面する大きな悩みや選択を深く理解することが重要です。“Eat Well, Live Well.”は、味の素グループが、これまでそしてこれからの“Wellbeing”のあり方を、科学と人間的な価値観を融合させながら戦略的なストーリーとして世界に問うていく活動に、生活者が自らの想いや考えをのせて、ともに歩むことへの呼びかけです。

味の素(株)取締役会は、味の素グループとしての既存事業パフォーマンス向上と持続可能な価値創造に資する新事業創出を促進すべく、新たに設置したこのサステナビリティ諮問会議にそのための機会の特定を委任しました。

サステナビリティ諮問会議はこれより、“Wellbeing”の持続的実現を目指すたゆまざる取り組みと定義される、味の素グループのビジネスモデルの構想・計画・実行の一連のプロセスに対する持てる知見の提供を目的とします。

サステナビリティ諮問会議は、2030年そしてそれ以降を見据えた“Wellbeing”にかかる味の素グループの戦略的ストーリー策定への社会からの期待と機会を探るべく、鍵となる様々な専門領域を代表する委員と、味の素グループの経営陣とが一堂に会する討論の場として設計されています。当諮問会議は、参加者が一堂に会し、学際的・業際的な討議の中でそれぞれがそれぞれの専門性を発揮して、食品産業全体のモデルとなるような、味の素グループが進む、強固かつサステナブル、レジリエンスも備えた戦略的な道筋を共同で策定する場となります。

これより、サステナビリティ諮問会議には以下を期待します。

- ・ 社会的・環境的・経済的な観点から、味の素グループが展開する事業のパフォーマンスを測定する/測定すべき主要指標を定義すること

- ・ 事業としての社会的・環境的・経済的価値の創造への貢献のため、味の素グループの能力と資源を適用できる、将来的・発展的な社会的・環境的機会を特定すること
- ・ 味の素グループのこれまで・これからの活動の計画・展開の戦略的方向性について、マルチステークホルダー観点から統合的なフィードバックを行うこと

味の素グループは、すべての事業活動を通じて、社会的・環境的・経済的価値を統合的に創造する能力を高め、持続可能性を中核的な事業能力として常に向上させることにより、社会の”Wellbeing”を促進することに努めてまいる所存です。

諮問会議の委員各位をパートナーとして、未来に向けて真に持続可能なビジネスを創造していきたいと考えております。

2021年4月2日

味の素株式会社

代表取締役 取締役社長 最高経営責任者

西井 孝明

味の素株式会社 サステナビリティ諮問会議

議長

スコット・デイヴィス